

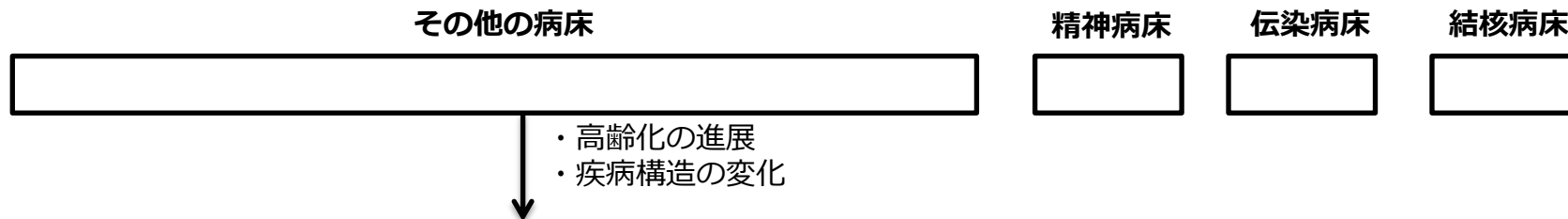
本県の療養病床について

医療法の改正の主な経緯について

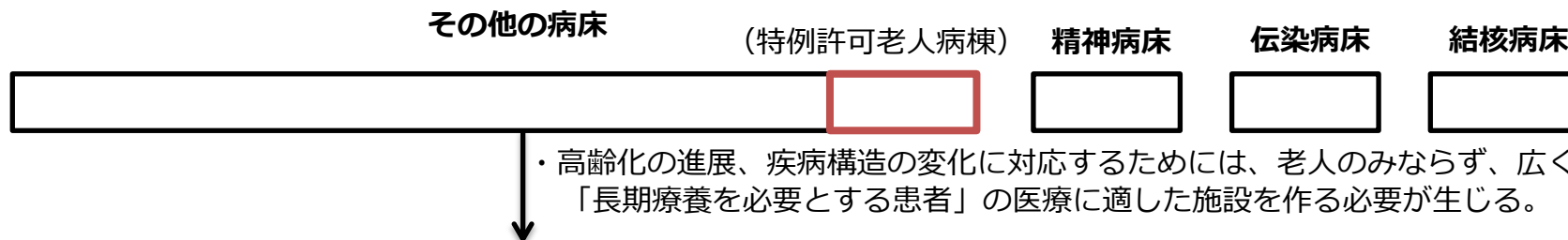
改正年	改正の趣旨等	主な改正内容等
昭和23年 医療法制定	終戦後、医療機関の量的整備が急務とされる中で、医療水準の確保を図るため、病院の施設基準等を整備	○病院の施設基準を創設
昭和60年 第一次改正	医療施設の量的整備が全国的にほぼ達成されたことに伴い、医療資源の地域偏在の是正と医療施設の連携の推進を目指したもの。	○医療計画制度の導入 ・二次医療圏ごとに 必要病床数を設定
平成4年 第二次改正	人口の高齢化等に対応し、患者の症状に応じた適切な医療を効率的に提供するための医療施設機能の体系化 、患者サービスの向上を図るための患者に対する必要な情報の提供等を行ったもの。	○特定機能病院の制度化 ○ 療養型病床群の制度化
平成9年 第三次改正	要介護者の増大等に対し、介護体制の整備、日常生活圏における医療需要に対する医療提供、患者の立場に立った情報提供体制、医療機関の役割分担の明確化及び連携の促進等を行ったもの。	○ 診療所への療養型病床群の設置 ○地域医療支援病院制度の創設 ○医療計画制度の充実 ・二次医療圏ごとに以下の内容を記載 地域医療支援病院、 療養型病床群の整備目標 医療関係施設間の機能分担、業務連携
平成12年 第四次改正	高齢化の進展等に伴う疾病構造の変化等を踏まえ 、良質な医療を効率的に提供する体制を確立するため、入院医療を提供する体制の整備等を行ったもの。	○ 療養病床、一般病床の創設 ○医療計画制度の見直し ・基準病床数へ名称を変更
平成18年 第五次改正	質の高い医療サービスが適切に受けられる体制を構築するため、医療に関する情報提供の推進、 <u>医療計画制度の見直し等を通じた医療機能の分化・連携の推進</u> 、地域や診療科による医師不足問題への対応等を行ったもの。	○都道府県の医療対策協議会制度化 ○ <u>医療計画制度の見直し</u> ・4疾病5事業の具体的な医療連携体制を位置付け
平成26年 第六次改正	医療安全確保を狙いとした医療事故調査・支援センターの新設、病床機能の分化と連携の推進を狙いとした病床機能報告制度の新設等が行われます。	○病床の機能分化・連携の推進 ・病床機能報告制度と地域医療構想の策定 ○在宅医療の推進 ○医師・看護職員確保対策 ○医療機関における勤務環境の改善 ○医療事故に係る調査の仕組み等の整備 ○医療法人制度の見直

病床区分に係る改正の経緯

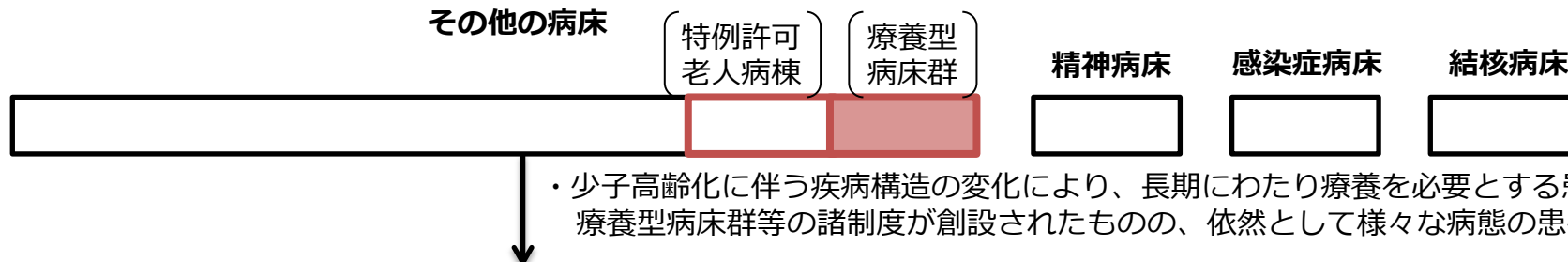
【制度当初（昭和23年）～】



【特例許可老人病棟の導入（昭和58年）】



【療養型病床群制度の創設（平成4年）】



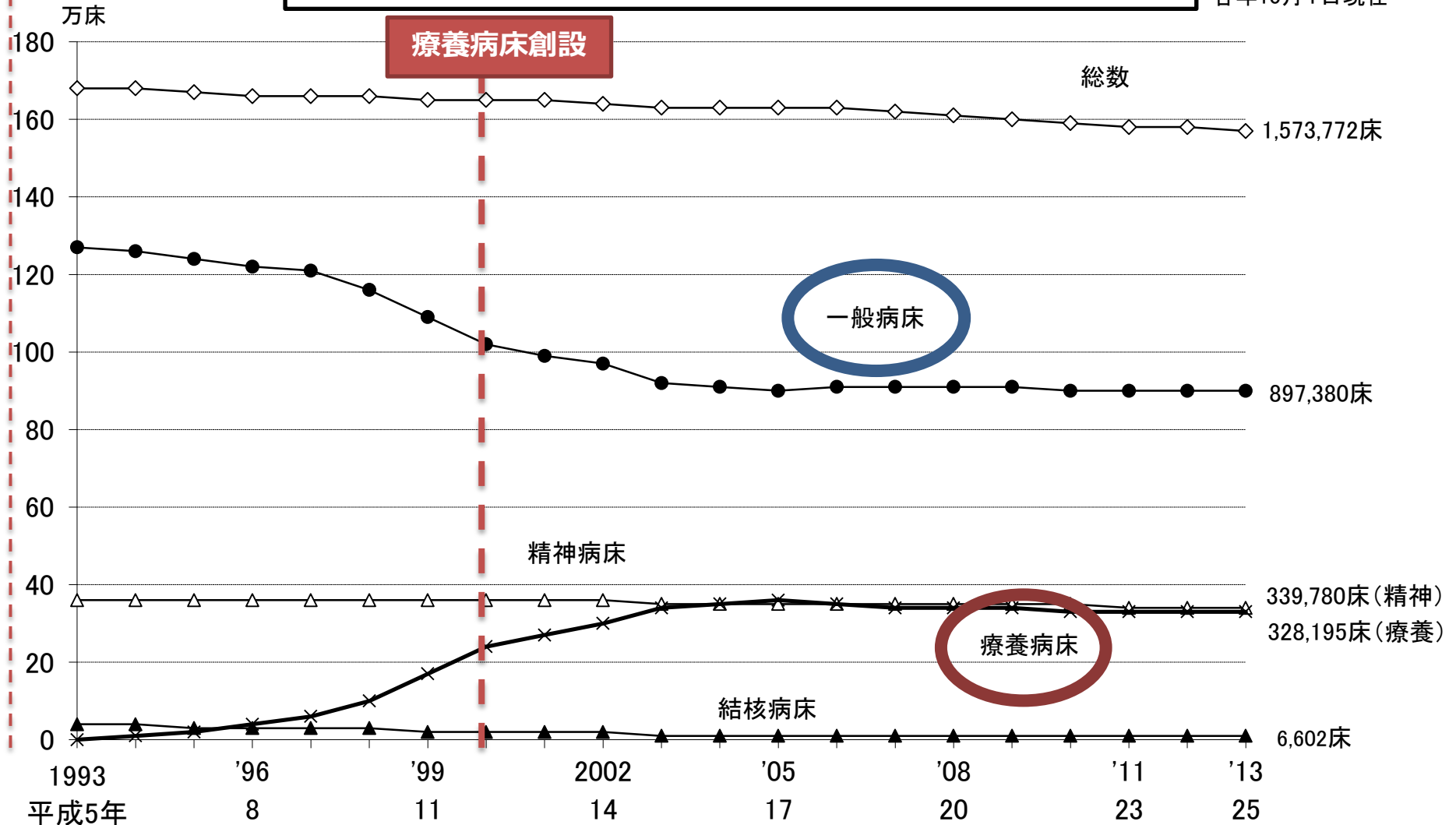
【一般病床、療養病床の創設（平成12年）】



療養型病床群
制度の創設(H4)

全国の病床の種類別に見た病床数

各年10月1日現在



注：1) 「一般病床」：平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたもの
平成13,14年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床（経過的旧療養病床群を除く。）」
2) 「療養病床」：平成5年～12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」
平成14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」

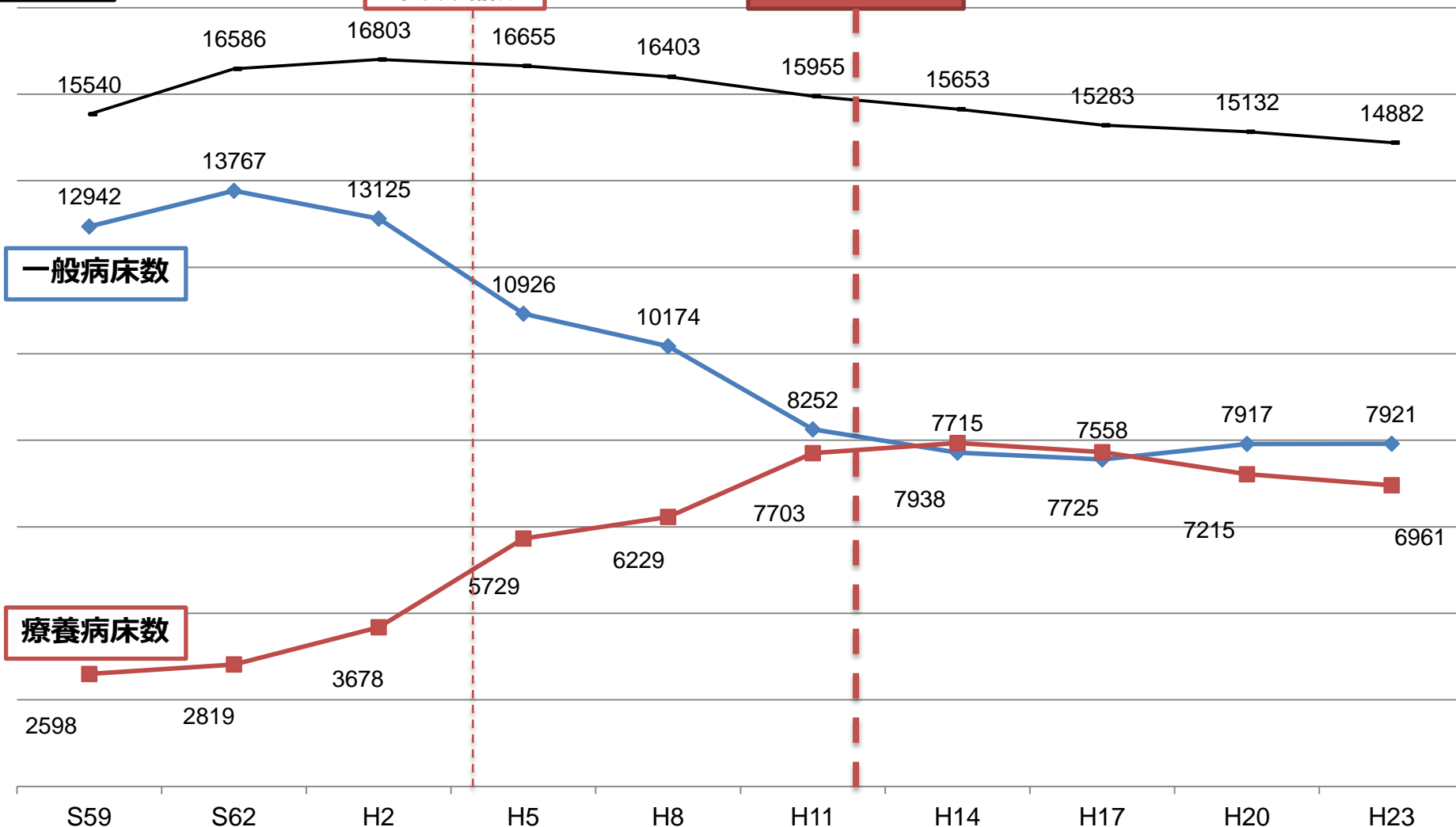
高知県の一般病床数と療養病床数の推移（病院）

合計数

療養型病床群
制度の創設

療養病床創設

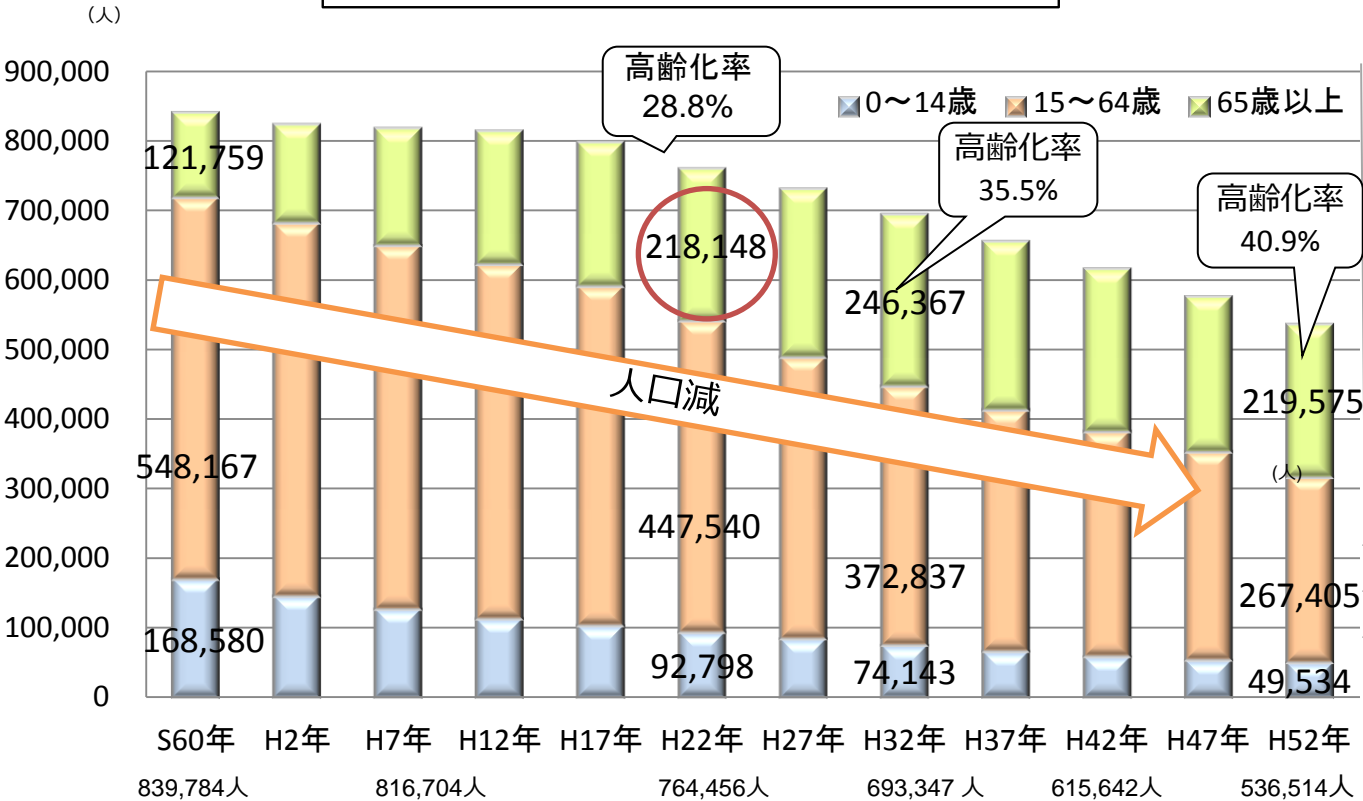
医療施設調査より事務局作成



- 注：1) 「一般病床」：昭和59年～平成2年は「その他の病床」のうち「特例許可老人病棟」を除いたもの
 平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」及び「特例許可老人病棟」を除いたもの
 平成14年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床（経過的旧療養病床群を除く。）」
- 2) 「療養病床」：昭和59年～平成2年は「その他の病床」のうち「特例許可老人病棟」
 平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「特例許可老人病棟」及び「療養型病床群」
 平成14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」

人口推計からみた高知県の現状

高知県の人口推移と将来推計人口

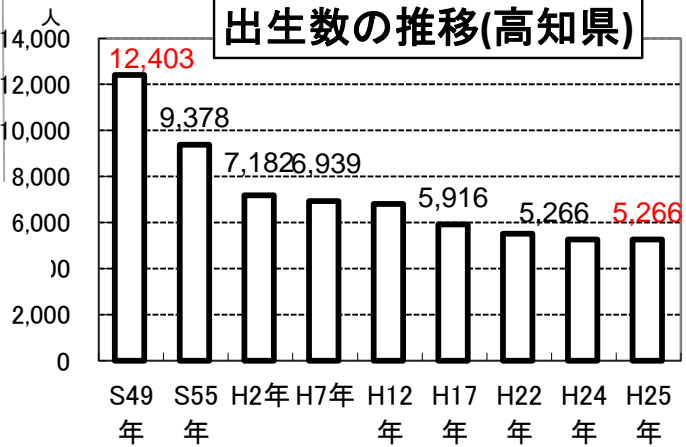


人口自然増減

	高知県	全国 (人)
1985	2, 4 6 2	6 7 9, 2 9 4
1990	- 3 8 6	4 0 1, 2 8 0
1995	- 1, 0 2 2	2 6 4, 9 2 5
2005	- 3, 2 0 3	- 2 1, 2 6 6
2007	- 4, 0 2 2	- 7 1, 8 3 0
2013	- 4, 9 7 8	- 2 3 8, 6 2 0

出典：人口動態調査（厚生労働省）・人口移動調査（高知県）

出生数の推移(高知県)



出典：厚生労働省「人口動態調査」

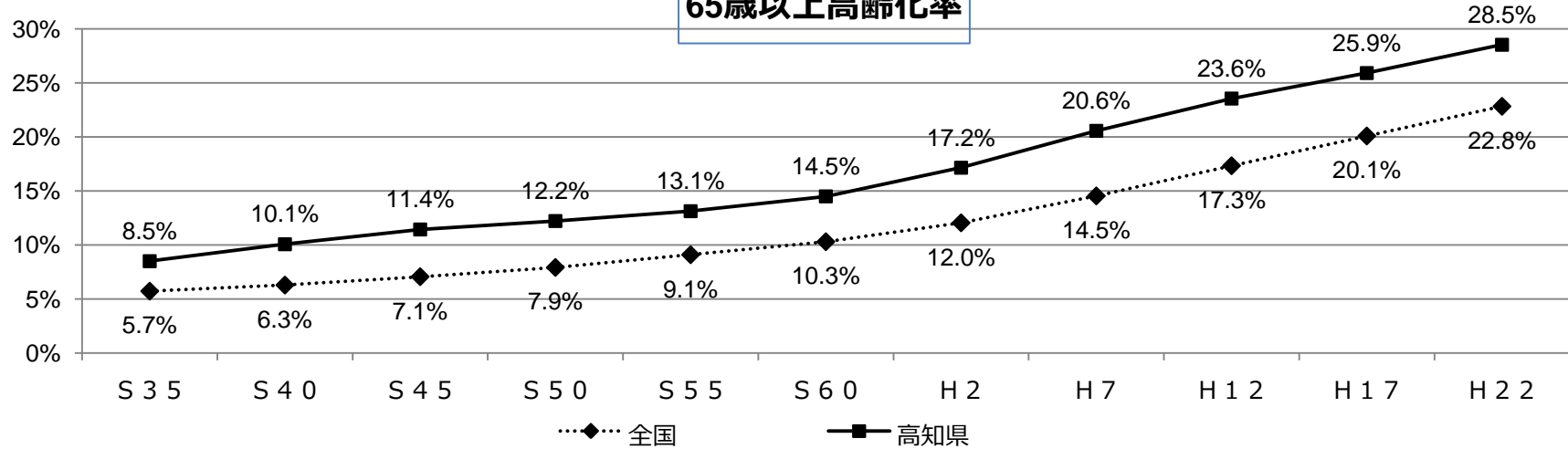
高齢者人口は、H32年にはピークを迎え、その後は減少に転じると見込まれています。しかしながら、高齢化率は、総人口が減少することからH32年以降も上昇の見込みです。また、一方で少子化は年々進む見込みです。

人口が全国に15年先行して自然減少しています。出生数は40年で半数以下となっています。

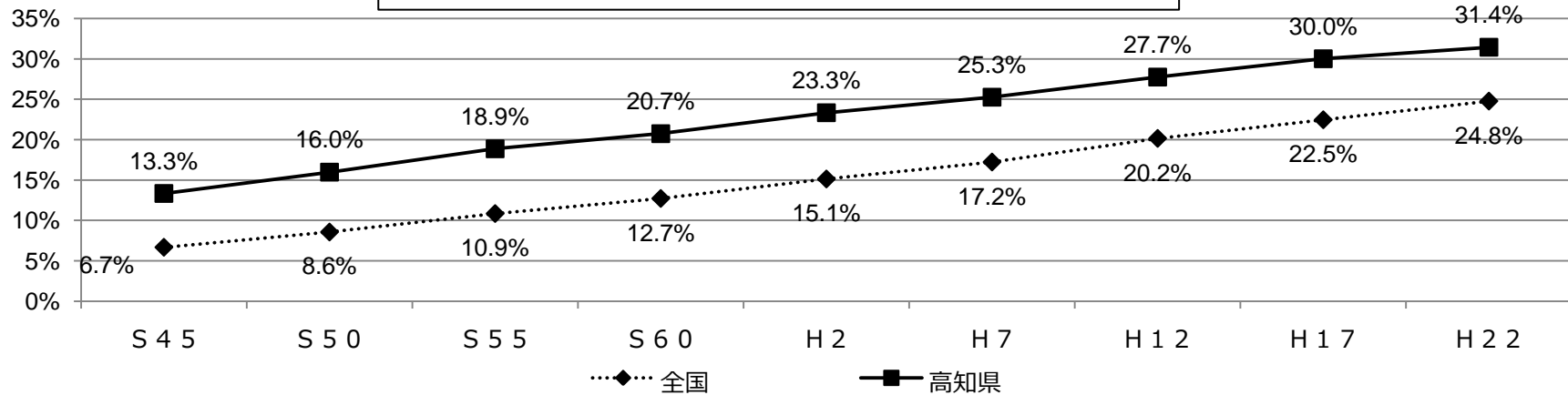
高齢化率・高齢単身世帯割合ともに高い水準

高知県は、全国に先行して高齢化が進展し、独居の高齢者が多い。家庭での介護力もせい弱。通院に不便な中山間地域が多いこともあり、疾患を抱えた場合は、家庭での療養が困難な状況。

65歳以上高齢化率



65歳以上高齢者がいる世帯における単身世帯の割合



高齢者の入院が多い要因

病院が、高齢者の増加や核家族化等により増加した介護・療養のニーズの受け皿となってきた。

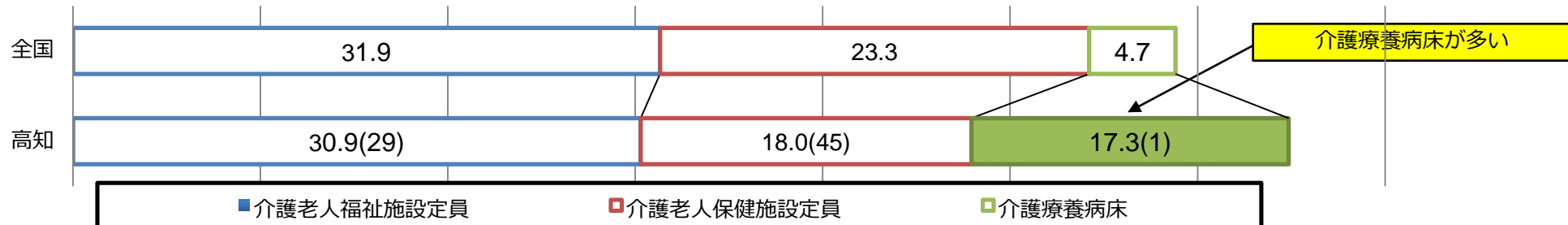
1. 人口10万人当たり病床数の全国順位

高知県の病床数は、昭和41年に全国1位となり現在に至っている。

昭和30年		昭和41年		昭和45年		平成24年					
順位	病床数	順位	病床数	順位	病床数	順位	病床数				
1	岡山県	825.4	1	高知県	1,427.5	1	高知県	1,909.3	1	高知県	2,476.2
2	京都府	784.0	2	岡山県	1,399.8	2	岡山県	1,515.6	2	鹿児島県	2,052.5
3	千葉県	728.9	3	徳島県	1,232.8	3	鹿児島県	1,438.1	3	熊本県	1,957.3
4	石川県	719.6	4	香川県	1,222.9	4	徳島県	1,431.6	4	徳島県	1,933.9
5	宮城県	716.4	5	宮崎県	1,206.0	5	香川県	1,430.4	5	長崎県	1,926.4
15	高知県	598.4									
	全国平均	569.2		全国平均	927.0		全国平均	1,014.7		全国平均	1,237.7
	全国との比	1.05		全国との比	1.54		全国との比	1.88		全国との比	2.00

2. 介護保険施設の定員数（H25.9月末介護保険事業状況報告，H25.10.1介護サービス施設・事業所調査）

(1) 75歳以上人口千人当たりの介護保険3施設の定員数（（ ）内は高知県の全国順位）



(2) 75歳以上人口千人当たりの介護保険3施設の定員数（全国順位）

順位	1位	2位	3位	...	8位	...	45位	46位	47位	全国平均
都道府県名	富山県	徳島県	石川県	...	高知県	...	大阪府	滋賀県	東京都	
定員数	76.9	76.3	74.8	...	66.3	...	53.6	52.8	48.3	59.9

高知県の病床数が増加した理由

【高知県地域ケア体制整備構想（昭和20年3月）】より

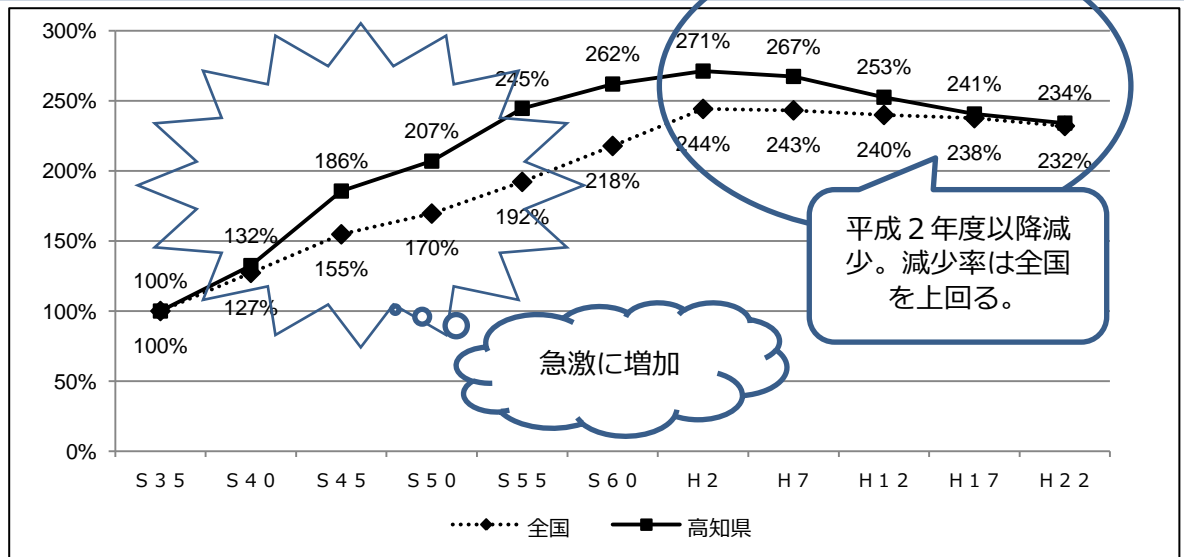
- ① 昭和36年に国民皆保険制度が始まり、昭和40年から段階的に世帯員への7割給付が開始されたことによって、低所得者層を中心に医療への需要が高まった。
- ② 県全体の人口は減少していたが、県都高知市の人口は1割程度増加している。高知市への人口集中が進み、中山間地域の過疎化、高齢化や核家族化が進行したことで、家庭の介護力が不足し、医療、とりわけ入院へのニーズが増加した。
- ③ 公的病院の病床数が少なく、医療法人による病院の開設が進みやすかった。
- ④ 昭和40年から45年にかけては全国的に「いざなぎ景気」とよばれる好景気の時代であり、第2次産業が脆弱な本県では、労働力人口が集中した高知市を中心に①～③を要因として、医療機関が主な投資先となって病床数、病院数が増加した。

※老人医療費の無料化は、昭和48年からであり、このことは、病床数増加の要因ではない。

病床数の推移

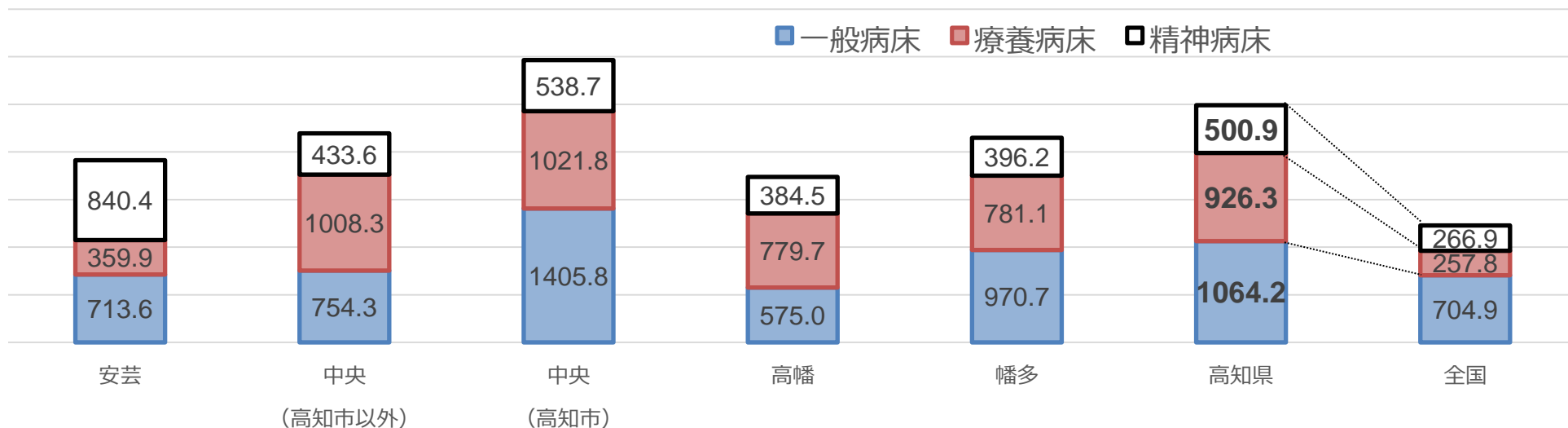
病床数は平成2年度まで増加を続け、その後は減少している。特に、昭和40年代に急激に増加している。

	病床数の推移（介護含む）			
	病床数		35年比較	
	全国	高知県	全国	高知県
昭和35年	686,743	8,097	100.00%	100.00%
昭和40年	873,652	10,723	127.22%	132.43%
昭和45年	1,062,553	15,026	154.72%	185.57%
昭和50年	1,164,098	16,755	169.51%	206.93%
昭和55年	1,319,406	19,801	192.13%	244.55%
昭和60年	1,495,328	21,207	217.74%	261.91%
平成2年	1,676,803	21,957	244.17%	271.17%
平成7年	1,669,951	21,646	243.17%	267.33%
平成12年	1,647,253	20,445	239.86%	252.50%
平成17年	1,631,473	19,478	237.57%	240.56%
平成22年	1,593,354	18,951	232.02%	234.05%

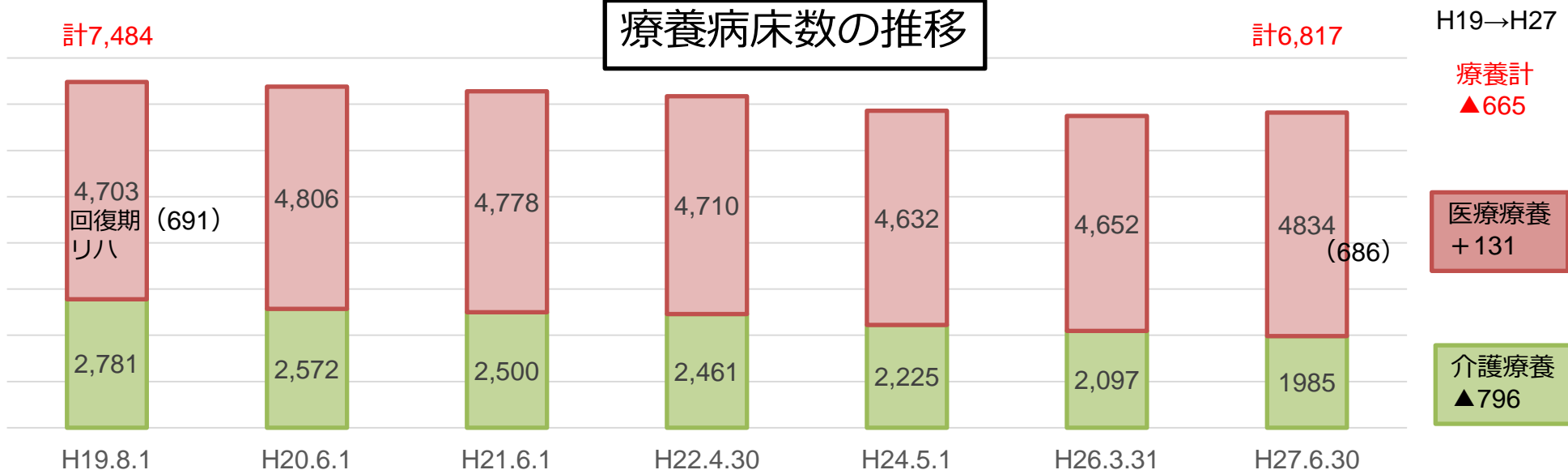


高知県の病床数の現状と療養病床数のこれまでの推移

病院の病床数（人口10万人対；2015/04/30）



療養病床数の推移



※介護療養を中心に一定の転換 → ただし、県・国の助成制度の活用実績なし（改修・新設のケースがなかったことなどによる）